

企画展

江戸から東京へ

—下町のくらし—

記念館では現在、ササニシキ

資料館と共催した初めての企画「江戸から東京へ」を開催しています。これは古川市と台東区とが姉妹都市提携していることから、台東区立下町風俗資料館のご協力をいただいで実現したものです。是非両館ともご覧ください。

さて、当館では「下町のくらし」と題して、江戸時代からつづく庶民の長屋での暮らしぶりを紹介しています。

「長屋でのくらし」「職人の仕事」「子どもの遊び」の三つのコーナーにわけています。「長屋のくらし」では、「遠い親戚より近くの他人」という言葉通りの共同体としての生活を、御歯黒の道具、箱膳などで表しています。「猫炬燵」は古川でも少し前まで使っていました。

「職人の仕事」では、左官道具や大工道具などで、長屋を建築する大工仕事を中心に紹介しています。また、足袋が出来上がるまでの過程を道具や型で表

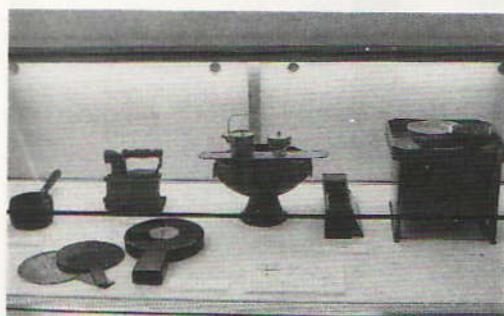


現在開催中の企画展「下町のくらし」

わしました。台東区では現在でも様々な道具の職人さんが、伝統を今に伝えていきます。「子どもの遊び」では、なつかしいおもちゃ・紙メンコ・ペーゴマ・独楽・おもちゃ絵などを展示しました。なかでも圧巻は、ままご道具一式で、明治大正時代の生活用品の精巧なミニチュアを、一同に観覧することができ

ます。当時は遊ぶというより、ひな祭りのおきに飾ることが多かったようです。

また、今回は昔の遊びを体験するコーナーを特別に設けました。けん玉や双六など、昔なつ



お歯黒の道具

かしい遊びに一時を過ごしてみたいかがでしようか。

区名の由来

区の名前は、タイと濁らずに「タイトウ」である。「台」は上野の高台を、「東」は上野の東に位置する浅草を表わしている。このように区の名を象徴すると共に、「台」は台覧・台臨という言葉があり、めでたさや気品の高い文字。「東」は日出する所であり、若さを感じさせる。これらの字義・解釈にもとづき「若さ」といったことを「台東」の名は象徴している。

(特別区制施行)

昭和22年3月)

区章の由来

「台」と「東」を重ね合せて図案化したもの。中央の白色は「台」、まわりの赤色は「東」を表わしている。白色の区別は、使用の場所によって自由に変えることができる。

(昭和26年4月18日制定)



- 人口 155,804人
 - 世帯数 71,461戸
 - 面積 10.08km²
- (平成7年4月1日現在)
- 区木 さくら
- (バラ科 落葉高木)

1月28日まで